

連続講座

移住者の権利キャンペーン2020
「ここにいる koko ni iru.」企画

移民二世からの研究発信

外国から出稼ぎ労働者が来日するようになって30年が経過し、日本で育った子ども世代のなかから、「移民研究者」が誕生しています。「移民」を、みずから経験してきた研究者たちは、自分たちを対象としてきた先行研究をどのように読み、研究者としてみずからはどのようにアプローチしていくのでしょうか。

第三回目は、ペルーにルーツをもつルセロ・オオクラさんの報告と、高谷幸のコメントです。



報告者：ルセロ・オオクラ（一橋大学大学院）

「日本における非正規滞在者の経験と帰国の影響： ペルー人帰国者の事例から」

コメンテーター：高谷幸（大阪大学）

2018. 3. 10. (Sat.) 16:00~18:00

上智大学
四谷キャンパス2号館6階615a
(東京都千代田区紀尾井町7-1)

申し込み不要・無料

移住者の権利キャンペーン2020
「ここにいる koko ni iru.」とは

移住者と連帯する全国ネットワーク(移住連)は、移住者と多様なルーツをもつ人々の権利と尊厳が保障される社会、制度、政策をめざして、多くの人に参加し、意見を出し合う場をつくる、移住者の権利キャンペーン2020「ここにいる koko ni iru.」をスタートしました。

タウンミーティングなどを通し、移住者あるいは外国にルーツを持つ方々が「ここにいる」ことを社会に広めるとともに、2020年に向けた政策提言を発表します。

主催：NPO法人移住者と連帯する全国ネットワーク貧困対策プロジェクト
問い合わせ先：Tel: 070-6519-1391 E-mail: inabanako@gmail.com (稲葉)